夕刊

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一箇月金八十錢 郵税一箇月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇番・三五二二番
發行人 十河泰忠男　編輯人 松本啓二　印刷人 谷[illegible]

密輸取締徹底を期し 全滿稅關網擴充
第一回全滿稅關長會議終る

第一回全滿稅關長會議は既報の如く二十七日より四日間財政部に於て開催され、三十一日

「終了」したが、協議事項は稅關官制並びに分科規定大同二年關稅收入見込、新規事業計畫、會計事務打合せ及び密輸入取締に關する方策について種々協議の結果、密輸を徹底的に防止する爲め滿鮮、滿支滿蘇各國境に亘つて稅關網を擴充することに決定、解氷期を待つて滿鮮國境、臨江輯安、外岔溝、長甸河口に四稅關分館、關東州境、莊河、大孤山青推子に三分館、營口稅關管下西海口に分館を新設する外熱河省の治安回復を待ち、滿支國境長城の重要關門古北口喜峰口、界嶺口等數個所にも稅關を設置、平津方面より滿洲國内に流入する密輸を嚴重に取締る方針で、滿蘇國境の密輸防止については近く北滿一帶に亘つて大規模な調査を開始、密輸對策に講ずることとなつた、また目下問題となつてゐる內地、朝鮮方面よりの滿洲向け小包課稅問題に就いては脫稅小包の徹底的取締りの見地より大連、安東兩稅關に於て稅關吏を增員して均等なる課稅を行ふこととなつた、なほ大同二年度關稅收入見込は

「大体」一割と觀測され滿洲貿易の發展と共に總額四千五百圓を突破するものと觀られて居る

大藏省手持 滿期米穀證券は大部分借替へ

〔東京卅一日發國通〕大藏省は四月一日支拂期日の米穀證券八千八百三十九萬圓中三千六萬圓を償還し、殘額は更に米穀證券に借替へるに決定した、借替の要綱は割引日步六厘五毛、支拂期日七月一日、發行方法は日銀引受である

黒龍江省 逆產處理委員會

〔チチハル三十一日發國通〕黒龍江省の逆產については從來便宜の方法にて處理せられてゐたが、今回黒龍江省逆產處理委員會なるもの設立され近く具體的細目を決定の上、從來まちまちであつたものが統一されることになつた

營口稅關で西海分關を新設
熱河物產の集散港

〔錦州三十日發國通〕討熱軍事工作の一段落と政治工作の進展に伴ひ、熱河省の豐富なる物產がぼつぼつ出廻り始めたので、營口稅關では錦州西南方約六十支里の西海港に稅關分關を設置するに決定し、目下着々準備中で近く開關の運びとなる模樣である

尚ほ西海港は同地方唯一の安全港で、同地の稅關分關開設の曉は熱河の物產は同港を中心として集散する事となるべく同港は將來相當の發展をなすものとして囑目されてゐる

奉天省管下 營業稅引下げ斷行
五月一日より實施

滿洲國財政部では鋭意國稅率の合理化を目標に諸稅率の調査改正を行つて居るが、來る五月一日より奉天省管下の營業稅率を千分六に引下げを斷行、省民の負擔輕減を敢行することとなつた、從來の營業稅率は第一類（普通賣買）百分の二、第二類（製造業）百分の一、五、第三類（賃貸、出版業）百分一、第四類（銀行金融）百分の二右は七月一日より實施の豫定である

內地殖民地間の經濟統制

〔東京卅一日發國通〕內地及び殖民地間の經濟統制に關する意見を考案すべく拓務省主催官民合同座談會は正午より拓相官邸で永井拓相、堤、河田兩次官以下各局長殖民地側今井田朝鮮政務總監、西山關東廳財務部長、平塚臺灣總務長、今村樺太長官、大淵、十河滿鐵兩理事、松方幸次郎、宮島清次郎の諸氏參集、午餐後永井拓相挨拶あつて懇談に移り午後四時散會した

三月下旬外國貿易

〔東京卅一日發國通〕三月下旬外國貿易概算左の如く大藏省にて發表（單位千圓）

輸出	五八二五七
輸入	六〇二六〇
合計	一一八五一七
入超	二〇〇三

尚三月下旬重要商品輸出入額は左の如し（單位千圓）

輸出	生糸	一〇三九二
	綿織物	一三四六一
	絹織物	二二一八
輸入	棉花	一一七五七

三月下旬に入り 對外貿易好轉

〔東京三十一日發國通〕年初來大入超に終始して居た對外貿易は三月下旬突如大きく變轉し、入超二百萬三千圓と言ふ著しい入超尻の好轉を示した、これが主なる理由としては

一、三月上中旬は米國に於ける金融恐慌の餘波をうけ諸取引杜絶の災に遭つたが、その後商談は完全に復活、對米爲替も金融恐慌前の二十一弗臺で變化しない事

二、これが爲め憂慮された生糸輸出も前旬の六千ピクル餘といふ慘狀から今旬は一萬四千ピクル餘に上つた事

三、棉花輸入再生期の峠を越し、今旬は僅か二十六萬ピクル餘と前旬に比し半額に減少したこと

四、爲替相場の安定に依つて雜品驅逐が漸次振つて來たことが擧げられてゐるが棉花は一月以降今旬まで累計四百十八萬四千六百八十七ピクルの輸入を示し、上期中に多く見積つても三百六十萬ピクル見當の輸入を見る程度で、春から輸入の峠は明かに過ぎたと言へる輸出部面においては爲替が現在程度に落着き、亂上下がなければ前途は平穩と見越されるから對外貿易も上四半期を轉機として入超も減退傾向にある、貿易尻は稍々輕くなるものと見られるに至つた

世界經濟會議の米國委員奔走

〔ロンドン三十一日發國通〕世界經濟會議につき英國官邊と打合せ中の經濟會議米國準備委員デービス氏は四月三日ロンドン發四日パリでダラディエー首相と會見の豫定である一方佛國でも右準備に關し財界各派代表に折衝中だが準備委員會は四月二十三日召集五六週續開の豫定である

熱河省事情〔十四〕

三 交通

熱河省が今や五百萬の移住民を抱擁し乍ら依然として舊態を持し、天與の利源が更に開發されないのは一に交通機關の缺陷に基因するのであつて世人が齊しく邊外不毛の荒野としてゐる所以である

現在熱河省に於ける交通機關は不完全な陸路と唯一の灤河水路あるのみであるが灤河は水量が少く、上流地方に於ては水運の便に乏しい、陸路にあつては卓索圖盟の山嶽地帶を除いては他に交通困難な山川無く、若し道路完全ならば運輸交通上甚しい障を見ない。且つ開拓地方には幾多大小の市場があり、之を中心として道路は四方に通じ、土產の集散頻繁で車輛駄獸の運輸機關は略々設備せられてゐる又、近年乘合自動車の運轉を見るやうになつた。鐵道はこれ迄幾度か豫定線を發表されたが、未だ一線の敷設さへ見ない。將來速に之が完成を企圖し暗黑裡に埋藏されてゐる天與の富源を開發し、蒙昧な土民をして一日も早く文明の曙光に浴せしむべきである

商業道路

赤峯は熱河省に於ける經濟上の中心であつて內蒙人文の開發、漢人北進の政策と相俟つて遠からず熱河省の經濟並に政治上の重點たるべき地であり、交易上最も廣大な勢力範圍を有してゐる。今日に於てすら內外の物資集散頗る巨額に上り、眞に四通八達の要地である。而も將來日本人が熱河省に進出するに際しても必ずや赤峰に根據を置いて諸般の畫策を講ずるであらう事が察せられる。

赤峰は大體に於て興安嶺以東、西遼河南北の中心に位置し略々農業地帶と牧畜地帶との界線に當る。而して牧畜地帶に對し碍は蒙古貿易の前線であるばかり、でなく農業地帶に對しては地方物資の集散地である。而もその商路は眞に四通八達の要衝に當り、悉く陸運にして水運の便は全然ない。牧畜地帶即ち純蒙古各部に通ずるものは概ね緩漫な波狀形地帶を通過するものであつて一面矮草を以て蔽はる砂土である上に車馬の往來頻繁でない爲交通容易であるが、商業通路としての價値は少ない。農業地帶即ち京津及び滿洲地方の重要都市に聯絡するものは往來頻繁にして大車の轍痕深く地中に印し、石塊纍々として峻嶺諸所を遮り河川亦概ね橋梁なく河身を通過するため車行動搖甚しく、不快ではあるが、併し最も重要な商業通路である。赤峰を中心として重要都市に至る里程を示せば次の通りである

北路
A 烏丹城（蒙古名ボロホト） 一八〇支里
B 林西 三六〇支里
C 經棚（蒙古名バルホト） [illegible]支里
D 西烏珠穆泌 八〇〇支里

東北
A 開魯（烏丹城經由と小哈拉道口經由の二路があるが多くは後者による） [illegible]

東南路
A 凌源（通稱?子溝） 三六〇支里
B 朝陽（通稱三塔塔） 三六〇支里
C 錦州 五四〇支里

南路
A 平泉（通稱八溝） 四〇〇支里
B 天津 九〇〇支里

西南路
A 承德（通稱熱河） 四七〇支里
B 北平 九六〇支里

西路
A 圍場 一八〇支里
B 多倫（蒙古名ドロンノール通稱喇々廟） 六〇〇支里

怪人凱歌（百八十二）

（舞臺上演映畫化）須藤鐘一 作　（畫）瀧秋方

犧牲（六）

「如何に藝事に熱心のあまりとは云つても、藤十郎が戀をそんな風に取扱つたのはどうでせうか。何だか綺麗なるものを冒瀆してゐるやうにも感じられて、私など賛成が出來かねます」

宮島は少し昂奮して云つた。

「その相手の婦人は、お梶と云ひましたね、自分が騙されてゐたことが分つた時は、さぞ口惜かつたでせうね」

と、獅子は同情に堪へぬやうに瞳をふるはして云つて、男の顔をぢつと見入つた。

「さうです、殊に勝氣な女であつたやうですから……たうとう楽屋で首を吊つて死んでしまひましたよ」

「それは尤もですよ。わたしはお梶の氣持がよく分るやうな氣が致します」

「戀には微塵も虚僞があつてはなりません。藤十郎の場合は、たとひ藝事に熱心のあまりとは云つても、それはそれとして、戀の神聖を冒した罪は、甘受せねばならぬと思ひますよ」

「無論、それほどの役者なら、十分自分の戀に對しても覺悟はあるでせうね。然し又、そんな罪を犯してまでも藝を勵むといふ心掛けにも心を打たれますわ」

「そんなお話しをすると、役者なんて當てにならぬといふ氣は起りませぬか」

と、宮島は微笑ひを頬にうかべて相手を顧みた。

「さうは思ひません。藤十郎のやうな人は特別ですから、まさかあなたが私に對してそんな慘酷な事をなさる氣遣ひはありませんからねえ、ホヽヽ」

獅子は初めて艶めかしく笑つてちらと流眄を相手におくつた。

「しかし、時と場合によつては、藤十郎にならぬともかぎりませんよ」

宮島は眞面目である。

「まア、あなたにそんなひどい事が出來るでせうか」といつたが、獅子はひとりうなづいて「そんな事を仰しやるのは、もう此の私といふものがお厭になつたからではないでせうか?」

「いやいや、そんな風にお取りになつては困ります。たゞ俳優といふ仕事には、それほど辛いことも忍ばねばならぬ場合があるといふ意味です。殊に女型は、もともと男が女に扮すといふ事からして、僞りの生活と云ふことも出來ますからね。さつきお話しいたしましたが瀨川菊之丞にしましても、男と生まれながら、常の起居から、女として扮せねばならぬとは、どんなに苦痛のことだつたでせう。馴れてしまへば何でもないやうなものゝ、やはり嘘僞りほど心を苦しめ、氣をつからすものはありませんからね」

「それで、あなたも嘘僞りがあるとおつしやるのですか」

「ありますよ。ですが、女型といふ仕事の性質として、それは止むを得ないのですが、私はしかしあなたとの間にまで假面をかぶり、顔色をつかはふとは思ひません。人間は絶えず自分の心にもない僞りの姿を裝つてはゐられるものでありませんからな。舞臺の上で、假面をかぶることが多ければ多いほど、一面には天眞爛漫の自分をむき出しにして生活したいものです。あなたと私との間は、その眞實の聲であり愛であります。此の僞らぬ生活があるばかりに、私は舞臺生活の僞りに對する苦痛や不滿にも堪へることが出來るのです」

宮島の言葉には眞實がこもつてゐた。

「あなたのお心もちはよく分りました」

獅子は濕ぐましいやうな感激を覺えて、しづかに相手の手をとつた。女のやうに白くやさしい宮島の兩手を、しかと握つて自分の膝の上にもつて來た。

宮島はなされるまゝに任してゐた。しめやかな話しに、夜はいつしか更けたらしい。

ふと宮島は、獅子にとられた手の上に熱いものを感じたので、はつと驚いて瞳をこらすと、女の眼から滴々と落ちる涙の玉が、電燈の光りをうけてキラキラと葉末の露のやうにきらめいてゐるのだつた。

勘忍袋の緒を切り

九門口の我が軍 斷乎起ち猛擊に轉ず ○○を占據○○○に向ひ總攻擊を開始す

（山海關卅一日發國通）連日の敵軍の九門口逆襲に遂に勘忍袋の緒を切つて、卅一日午前七時斷乎これに向つて猛擊を開始した、我岩田部隊は敵の野砲、迫擊砲の猛射を浴びつゝ進擊又進擊、午前九時先づ○○を完全に占據、尚ほ雪崩を打つて退却する敵軍を急追、敵の堅陣○○○に向つて總攻擊を開始した

夜に入り益々物凄し

（○○三十一日大熊宮澤國通特派員發）○○○を放棄せる敵軍は石門寨の本陣地に據り頑强に抵抗しつゝあり、石門寨には北方駐操營より後退し來れる鄭桂林軍の外、一兩日前、秦皇島より來着せる商震軍の有力部隊もある模樣にて、其の抵抗振りは侮り難いものがある、彼我兩軍の砲擊は朝來絕え間なく夜に入つて愈々繁く附近の谷間に物凄く谺してゐる

岩田支隊の奮戰に敵の堅陣も遂に陷つ

（九門口三十一日發國通）敵の九門口奪回總攻擊に應戰、俄然攻勢に轉じた我が岩田支隊は卅一日午前七時九門口を出發敵軍を蹴散らしつゝ靖安遊擊隊と協力し雪解けの惡路を衝いて午前八時石門寨東方約一里半○○の敵陣地に差し掛るや、敵は山頂を領した堅固な塹壕に據り頑强に抵抗、猛烈なる銃砲を加へ、我六百四十四團で、山海關事軍の頭上より浴せかけたが、約半時間の激戰終に之を占據、午前九時半堂々入城した、敵は何柱國の指揮する第件の不名譽を回復せんものとあくまで九門口奪還の望みを捨てず、頑强に抵抗し、同十時過ぎ健氣にも逆襲に轉じて抵抗したが、飛行機と協力する我堅固な防戰に遂に擊退された

鄭桂林軍總崩れ

（山海關卅一日發國通）正面岩田支隊、側面親滿丁强軍の猛擊に三十一日午前十一時三十分石門寨に在つた鄭桂林の一部は早くも總崩れとなつて海陽鎭方面に退却を開始した

冷口方面の我が軍 士氣益々旺盛

（錦州卅一日發國通）三十一日午前七時頃より冷口附近に於いて敵軍隊と交戰中の我向井部隊に協力すべく、午前七時五十分錦州飛行場を發した向野中尉の○○機は午前九時頃冷口頂上に達し、友軍と聯絡を保ちつつ空陸相呼應し頑强に抵抗する敵部隊を攻擊之れに多大の打擊を與へ、午前十一時四十分凱歌をあげて歸還したが、右報告に依れば冷口第一線の我が地上部隊は敵の大軍と僅々一キロの着彈距離に於いて對峙中で、敵は地の利を得我軍は低地にあり地勢不利なるも士氣益々旺盛である

宋哲元軍の負傷兵 後送者三千名に上る

（山海關三十日發國通）喜峰口方面で我軍に挑戰遂に敗退した宋哲元の戰死傷者は豫想外に多數に上つて居り、唐山經由北平方面に後送された負傷者數は既に第一回千七百名第二回千三百名で、早くも三千名の多きに達してゐる

彈丸雨飛中を巡視の岩田部隊長語る

（○○三十一日大熊、宮澤特派員發）彈丸雨飛の中を悠々我第一線を巡視中の岩田部隊長は語る

放つて置けば義院口も九門口も山海關さへも危い、果してどんな氣でかゝつて來るのか相手の氣は知れないが、降りかゝつて來る火の粉は拂はねばなるまいではないか、九門口警戒に出動しかけたところへ相手方が俄然攻擊して來たので、時の勢ひで之を叩きつけるため此方からも出て了つた、斯うやつて出た以上相手が抵抗する間は引續き應戰する外はない、一寸殺には納まるまい、幸に今朝來の戰鬪では全部隊を通じて死傷者も出ず皆元氣一杯だ

蒋の潰滅策具体化

（北平卅一日發國通）蒋介石の舊東北軍及び雜軍潰滅策は

商震軍挑戰 秦皇島西方に進出

（山海關卅一日發國通）商震の後續部隊は續々鐵道の線に集結しつゝあり灤河の線に後退してゐた、同重砲兵第十五團と九師の第七十二團並びに騎兵第百三師の一ケ團は二十九日秦皇島の西方王家嶺に進出、着々積極的攻擊準備を爲してゐる

芳澤氏の渡支を はき違へた支那紙

芳澤前外相今回の渡支は全く個人の資格で政府と何等關係の無いことは明瞭であるが、之れに關し廣東發行の市民日報は三十日の紙上で芳澤前外相の日支直接交渉と題し左の如く論じてゐる

日支直接交渉に關し種々傳へられつゝある際蒋駐日公使有吉駐支日本公使が夫々前後して『歸國』した矢先き芳澤前外相の來支は注目に値す、南京當局は勿論蒋、有吉兩公使共日支直接交渉說を徹頭徹尾否認し來れるが、今回芳澤前外相に依り愈々其馬脚を現はすに至つた、芳澤前外相の來支は一面抗日、一面交渉なる奇怪極まる汪精衛の說に期待をかけ一方蒋介石の無抗政策に乘ぜんとするものにして、南京當局就中日支直接交渉第一主義者流の歡迎する所ならべし

芳澤前外相自身の談に徴するも日支直接交渉說と『緊密』の關係あることは疑ひの餘地なし吾人は汪、蒋に欺かるる勿れ

定例閣議

（東京三十一日發國通）三十一日の定例閣議は午前十一時より恩給法改正法律公布手續きを始め法律勅令等十件の副署を終り、荒木陸相より最近の滿洲國の治安維持狀況に就いて報告した後、東支鐵道の列車抑留事件に關し、右はソビエット側に於いて機關車並びに客車、貨車等を露領國境に抑留して返還しないので、客車運送上に非常な支障を來してゐるので、滿洲國は嚴重抗議を申込んでゐる旨を報告、更に拓相より駐蒋、英大使の引揚問題に就いて質問、外相は未だ公報に接しない旨を答へ正午散會

岡村副長歸京

關東軍參謀副長岡村少將は過般來熱河討伐の報告及今後の北支方面の具體的方針打合のため上京中であつたが三十一日午後七時五十分軍部多數の出迎を受け歸京した

親滿義勇軍○○も敵の側面に猛擊

（山海關卅一日發國通）我が岩田支隊の協力に力を得た仲莊營の親滿義勇軍○○軍は俄然攻擊に轉じ、敵軍の側面を衝くべく、石門寨に向つて猛射を開始した

愈々表面化し來つたが、右兩軍を監視するに軍隊のみを以てしては其の要を得ずとして露國軍の如く軍隊內にいわゆる政治機關、抗日宣傳工作班なるものを各軍隊に屬せしめる事となり、總指揮劉健群總人員三百五十名を引具して二十九日南京を出發つた

汪精衛の復職 蒋の抗日强化を示す

（北平卅一日發國通）過日行政院長の椅子を燒いてその就任を拒否した汪精衛は漸く復職することになつたが、汪が就任するに至つた理由は蒋介石が汪の所謂徹底的抗日手段に讓步した爲と見られる、元來汪は政權慾旺盛にして行政院長就任拒否も宋子文の勢力大にして自己が出馬するも宋の勢力を凌駕すること不可能なるを考へた結果にして、或程度まで宋の勢力を挫いて後漸くにして就任を肯じたもので、汪の就任は一層抗日の度を高めるものと云はれてゐる

陳果夫等北上 黨部を北支に延長

（北平三十一日發國通）蒋介石は別項軍事北方進出と合せて所謂黨部の運動を北支に延長すべしとなし、中央黨部の幹部陳果夫張勵生、鄧天沖を北平へ招致、同地に中央黨部の有力機關の設置工作運動を開始した

支那軍尚ほ挑戰せば 斷乎再鐵鎚 外人記者團の質問に奉天特務機關の答へ

（東京卅一日發國通）＝陸軍省公表＝三十日奉天在住の外人記者團は我が特務機關を訪問して最近の情勢を懇談した、が懇談內容左の如し

問＝那軍が現在の樣に長城の線に執拗な挑戰を續ける場合日本側は如何にするか

答＝私見を述べると日本軍は忍べるだけ忍ぶだらうが、限度があり、餘り增長せば再度鐵鎚を降す場合なしとせず、特に戰線の一波瀾として睫毛の塵を拂ふことは是非しなければならぬと思ふ。然し彼等も現在の挑戰は蒋介石一派が東北軍及び雜色軍を日本軍の手で整理せんとの手段であると悟つてくれれば何時迄も續くまい

問＝關內の東北軍將領が歸順すれば滿洲國ではこれを許すか

答＝眞に悔悟し忠誠を誓へば家族と部下とその財產を安全にした實例多し

問＝日本は支那に何等か妥協提議したとの噂があるが眞か

答＝馬鹿々々休み休みに言へ全然無し、最近蒋介石の對日軟化說が傳へられたが、彼等の巧妙な宣傳であつて行懸りと面子の上から斷じてあり得ず、日本は武力にも經濟的にも外交的にも餘裕綽々、持久戰に於て最後の勝利をするものは世界廣しと雖も日本のみだらう

聖旨を奉戴し難局に善處せん ―首相の車中談―

（東京卅一日發國通）齋藤首相は三十一日午後十時十五分東京驛發西下したが車中にて左の如く語つた

帝國政府は聯盟と所信を異にし遺憾ながら遂に脱退するの已むなきに至つた事は御承知の通りである、其の際畏くも詔書渙發せられ、今後國民の步み行く道を御示し賜ふた事は誠に恐懼感激の至りに堪えない、國民と共に聖旨を奉戴し此の重大なる時局を克服する爲めに大いに努力しなければならぬ、今回伊勢神宮を參拜するのは我國歷史上記憶すべき聯盟脱退の御報告を申上ぐると共に、內外非常の時に當り擧國一致を以て此の國難を打開せん事を祈願する次第である

尚ほ歸りに西園寺公爵を御訪ねして聯盟脱退の事や議會終了の事を御報告し度いと考へてゐる

裏日本の新航路 北鮮廻り增加

（敦賀三十一日發國通）敦賀北鮮間日滿聯絡航路は愈々一日から北日本汽船が受命開始し聯絡船嘉義丸（二、三〇〇噸）は毎月一、十一、二十一日敦賀出帆、又之と同時に敦賀浦鹽聯絡航路も大正二年來の歷史を棄てゝコースト就航定期を變更し、同聯絡船天草丸（二、三〇〇噸）は敦賀浦鹽、雄基、清津の巡環航路につき六、十六、二十六日敦賀を出帆する事になり日本海時代の序幕は切られた

恩給法改正法 四月一日公布さる

（東京三十一日發國通）今日の定例閣議で議會通過の恩給法中改正法律案は四月一日公布に決定した

有無を探査し、救國基金を强請したかもその報復手段と觀られて居る

在獨ユダヤ人有價證券總賣出で 證券類大暴落

（ベルリン卅日發國通）ナチスの四月一日を期してのユダヤ人ボイコット斷行聲明で所有有價證券を現金に替へんとするユダヤ人續出し、三十日のベルリン株式取引所は之等のユダヤ人から一時に數百萬馬克の賣物殺到し證券類は大暴落を演じ、政府側では事態容易ならずとしナチスのユダヤ人攻擊緩和を交渉中

政變來を確信 政友幹部、自重を決意 鈴木總裁の招待宴で

（東京三十日發國通）鈴木政友會總裁は二十八日の議員總會で黨新幹部の改選を指命發表し、政局今後の『轉換』に備ふる陣容を整備したので、二十九日午後から築地旅亭に床次、岡崎、望月、山本、久原、河村、前田、島田秋田の諸氏並びに山崎幹事長を招待し、時局問題に就いて懇談を重ねたが、政局問題に關しては現內閣は遠からず圓滿辭職すべきことが確信され、近く首相の園公訪問を契機として政變氣構へは愈々濃厚となるだらう、從つて、政變來を繞る幾多の策動が試みられ政局は緊張し來るだらうか、政局の實情は微妙な關係に置かれてゐるので、政友會としてはあくまで多數黨として『自重』し、苟くも回復途上にある政黨信用を傷ける樣な言動を愼むことに意見一致し、益々黨の結束を固めて時局に善處することを決定し九時過ぎ散會した

法相と總理懇談

（東京三十一日國通）本三十一日午後一時小山法相は總理官邸で齋藤首相と懇談したが右は首相が園公を訪問する故司法部內の赤化事件に關する小山法相の進退問題を協議する目的と見られてゐる

天津でもまた 排日貨再燃氣遣はる 佛租界に爆彈騷ぎ

（天津卅一日發國通）上海、漢口等の排日運動再發せる折柄當地に陳立夫、鄧元沖等が來り、各支黨部に至り抗日氣勢を煽りつゝあるが、或は當地にも無謀なる排日貨運動再燃を氣遣はれるに至つたが、昨卅日午後十一時頃佛租界廿六號の支那染物店の入口に巧みに爆彈を裝置し、店員が戸を閉めんとせる際爆發した、損害はガラス戸一枚を破壞しただけだつたが、一昨日は白鐵排日團數名來店し、日貨の

學良の外遊 四月十一日と決定

（上海卅一日發國通）張學良は四月十一日伊太利汽船で二夫人秘書を伴ひ伊太利に向ふ事となつた暫く伊太利滯在の後フランス、英國等歐洲諸國を訪問の筈である

蘇國に對する受取手形 一年に延長

（東京三十一日發國通）商工省貿易局では、現行規則改正蘇國に對する輸出品の受取手形六ケ月を一年延長に決定、一日より施行する事となつた

人事往來

▲島崎少佐（關東軍司令部附）三十一日午後零時三十分奉天へ
▲熙財政部總長三十一日午後零時三十分吉林へ
▲多田少將（軍政部最高顧問）三十一日午後四時三十分奉天へ
▲林少佐（軍政部最高顧問）同上
▲千木良少佐（步兵第十五聯隊附）同上
▲加納大佐（第十師團參謀長）三十一日午後四時三十分吉林へ
▲岡村少將（關東軍參謀副長）卅一日午後七時五十分歸京
▲植村家治氏（貴族院議員）卅一日午後七時五十一分來京一日午前八時四十分南行
▲清宮通譯官（關東軍司令部附）一日午前九時南行
▲閻奉天市長一日午前八時來京
▲青木新京國道事務所長一日午前八時歸京

團體

▲鳥取師範生二十名一日午前九時奉天へ

◎商業登記

●新京建築助成株式會社變更
一、昭和八年三月十二日本店ヲ左ノ地ニ移轉ス 新京八島通六十九番地

●支配人解任
一、昭和八年三月十五日株式會社滿洲銀行新京支店支配人今村榮松ヲ解任ス
一、同日范家屯支店支配人宮原治好ヲ解任ス

●支配人選任
一、支配人ノ氏名住所 栗田二郎 新京日本橋通三十二番地
一、主人ノ氏名住所 株式會社滿洲銀行 大連市伊勢町六十九番地
一、支配人ヲ置キタル場所 新京日本橋通三十二番地株式會社滿洲銀行支店

●支配人選任
一、支配人ノ氏名住所 栗田二郎 范家屯南大通北第一號地
一、主人ノ氏名住所 株式會社滿洲銀行 大連市伊勢町六十九番地
一、支配人ヲ置キタル場所 范家屯南大通北第一號地株式會社滿洲銀行支店

●伊春窯業株式會社變更
一、取締役代表取締役工棟佐一郎ハ昭和八年三月七日死亡ス
右昭和八年三月二十日登記

●合資會社設立
一、商號 合資會社鶴田商店
一、本店 新京大經路十五
一、目的 一、塗裝請負並ニ建築材料販賣 二、右ニ附帶スル一切ノ業務
一、設立ノ年月日 昭和八年三月二十二日
一、存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿十個年
一、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格評價ノ標準及責任 金二千圓現金勞務出資評價 一千二百圓無限 象頭助 大連市西[illegible]九十四番地 金一千五百圓現金勞務出資評價金一千二百圓無限 象頭岸 大連市西[illegible]九十[illegible]番地 金一千五百圓現金勞務出資評價金一千二百圓無限 杉野[illegible]二郎 大連市敷島町六十六番地 金一萬圓有限 隅田清哲 大連市薩摩町七十九番地
一、代表社員ノ氏名 象頭助
右昭和八年三月二十二日登記

●合資會社設立
一、商號 合資會社淵上電氣商會
一、本店 新京祝町三丁目十一番地
一、目的 一、電氣工事請負並ニ器具販賣 二、前項ニ附帶ノ業務
一、設立ノ年月日 昭和八年三月二十二日
一、代表社員ノ氏名 淵上高市
一、社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任 金三千圓無限 淵上高市 新京祝町三丁目十一番地 金七千圓有限 白方慶五郎 大連市紀伊町四十五番地 金三千圓有限 白方秋枝 大連市紀伊町四十五番地 金二千圓有限 淵上サク 新京祝町三丁目十一番地
一、存立ノ時期定款作成ノ日ヨリ滿十個年
解散ノ事由存立時期滿了ノ外總社員ノ同意

●大矢組株式會社變更（支店）
一、取締役大矢奈良吉ハ昭和八年三月七日死亡ス

●淺野釀造株式會社變更
一、昭和八年三月[illegible]日左記ノ者取締役ニ重任ス 淺野彌右衛門 公主嶺花園町十五番地 淺野駿 四平街新開街十七番地 淺野るき 岡山縣淺口郡大島村千七百八十番地
一、同日左記ノ者監查役ニ重任ス 淺野勝太郎 新京東二條通十七番地 淺野實 公主嶺花園町十五番地
一、同日左記ノ者會社ヲ代表スベキ取締役ニ重任ス 淺野彌右衛門
右昭和八年三月二十三日登記

●滿洲海陸運送株式會社更正
一、左記取締役ノ所番地ハ錯誤ニ付左記ノ通更正ス 山下鶴三郎 東京市日本橋區呉服橋二丁目一番地 內田敏三 東京市品川區上大崎一丁目四百七十二番地 磯村正之 神戸市葺合區熊內橋通七丁目八番地ノ二

●合資會社三信洋行變更
一、社員米田良一ハ總社員ノ同意ニ依リ昭和八年三月二十五日其ノ持分ヲ米田庸造ニ讓渡シテ退社米田庸造ハ之ヲ讓受ケ入社ス 金一萬圓 有限 米田庸造 兵庫縣武庫郡今津町字綱引五番
一、昭和八年三月二十五日總社員ノ同意ニ依リ左ノ通入社ス 金一萬五千圓 有限 米田彥次郎 新京三馬路

●横濱正金銀行變更（支店）
一、左記ノ者昭和八年三月十日取締役ニ重任ス 兒玉謙次 東京市麴町區富士見町二丁目二番地 大久保利賢 東京市澁谷區向山町十一番地 小田切萬壽之助 東京市芝區白金三光町二百六十三番地 岩崎小彌太 東京市麻布區鳥居坂町二番地 渡邊嘉三郎 横濱市中區元濱町一丁目三番地 一宮鈴太郎 東京市杉並區阿佐ケ谷六丁目二百三十番地 武內金平 東京市赤坂區山南町六丁目四十三番地 最上國藏 東京市牛込區矢來町十三番地 水津彌吉 東京市澁谷區原宿三丁目三百五十二番地 津山英吉 東京市品川區北品川三丁目二百二十二番地
一、左記ノ者同日取締役ニ就任ス 柏木秋茂 東京市麻布區新龍土町六番地
一、左記ノ者同日監查役ニ重任ス 淺田德則 東京市麴町區六番町四十八番地 安部成嘉 東京市淀橋區柏木三丁目三百七十番地 杉塚磨 東京市中野區沼袋南二丁目百三十二番地 大塚伸次郎 東京市麴町區飯田町六丁目十九番地

●吉林燐寸株式會社變更支店
一、昭和八年二月二十四日左記ノ者監查役ニ重任ス
右昭和八年三月二十七日登記
在新京日本帝國總領事館

◎法人登記

●社團法人新京聖德會變更
一、昭和八年三月十七日左記ノ者理事ニ重任ス 赤羽一二 新京祝町三丁目九番地ノ三 龜田忠藏 新京老松町二丁目五番地 高崎宇佐之助 新京常盤町一丁目六番地 佐竹香太郎 新京氷樂町四丁目 大谷龜太郎 新京祝町二丁目十一番地ノ四
一、會ヲ代表スベキ理事赤羽一二
右昭和八年三月二十七日登記
在新京日本帝國總領事館

告示

告示第四號

新京居留民會規則第二條ノ規定ニ依リ左記ノ者ヲ同會常議員ニ選任ス

田中善平　安藤房吉　橋本與作　丸山久　赤間文雄　笹沼四郎　松田彌三郎　松永時三　吉井榮吉　古谷一　中村七之助

右告示ス

昭和八年三月二十五日

在新京總領事 栗原正

いぢらしき小女の武藤大將への贈物

この純な手紙を讀んで下さい　古川みつ子さん（八ツ）

三十日午後五時頃關東軍司令部の表門を附劍厳めしく歩哨が固めてゐる處に八才許りの一人の愛らしい少女が「これを武藤大將に上げて下さい」と

『無名』の封書を差出した、銃劍を握つて如何なる鬼神にも決してヒケを取らない我忠勇なる歩哨兵も、この愛らしい少女の封書には多分にマゴついたに違ひない、早速萬城目副官の許に届け、副官の手で開封すると左の如き書面に副へ今八圓が封入されてあるので萬城目副官と歩哨とは直樣門前に引返して見たがそこには既に少女の姿は見られなかつた、武藤關東軍司令官始め幕僚其他關東軍の將士もこの少女の優しい心に痛く感激し

『書面』には處番地もなく厳に假名でミツ子とあるを便りに市内各小學校に手配して捜した處やつと少女は市内東四條通一九雜貨商古川トクさんの長女みつ子(八歳)さんであることが判明したので、武藤司令官は三十日トクさんの親子を官邸に招き謝意を述べたがトクさんは痛く恐縮してこのことが世間に發表されることを喜ばぬ模樣であつたと

書面(原文のまゝ)

オデサマコレワワタクシノ
タンジヨウビニオベベチカ
ツテヤルトハハサマガクダ
サツタノデスガオベベヲコ
シラエマシテモガマコウノ
セイトデワゼイタクダカラ
ソンナモノヨシテオクニノ
タニツカツテイタダキナサ
イトオカサマガモウサレタ
カラナニカノタシニシテク
ダサイ　ミツ
ムトウシレイカスタイシヨ
サマ

三人組强盗

一日午前一時頃范家屯榮町滿人福庄方へ三人組拳銃强盗が裏口を破壞し屋內に押入り家人を脅迫現大洋四百元と衣類數點を強奪逃走した

警察の無電けふから實施

これで連絡も迅速に

訛報全滿警察の警戒充實のため新京、奉天、安東、旅順の四警察署に無電送受信局を設置し警備に遺憾なきを期すべく工事中各署とも完全に落成を見、試驗の結果一日から相互に受送信を開始した、新京署の送受信時間は午前九時午後一時の二回、(重大事件は不定時)となり、一日午前九時には本廳(旅順)當打合せの第一報を送受信した、なほ各局名は左の如くである

新京　JOQ
安東　JCO
奉天　JCP
旅順　JOC

新發屯住民が派出所設置方を陳狀

敷地や工事まで負擔

昨年から續々と建築された新發屯陸軍官舍附近には未だ警察官派出所がなく警察官の手薄に住民は危險を感じ一刻も早く警察官派出所の設置方を要望してゐたが、三十一日、新發屯集合住宅親和會代表梅軍中佐丸山久氏、同陸軍官舍工事請負人大林組では新京署へ派出所設置方、敷地、建築工費は全部親和會が負擔するから、警官の派遣をせられたいと請願して來た

オープンシーズンのトップを切る

湯淺蹴球團歡迎競技會

春雨のそれを思はす枝垂柳の老樹も鬱郁とした色付を見せて風に搖ぐ一枝毎に春を歌ひ初めて、永い冬籠りから醒め行く此頃人々の氣持はいと朗らかに戸外へと誘はれる折しも、オープンシーズンのトップを切るスポーツ前奏曲として來る四月三日午後四時半西公園トラツクに於て滿洲國体育協會新京支部主催の下に開催される日滿蹴球親善競技會こそは全新京の人氣を湊つてい、會場は人山を築くであらうと各方面から當日を待たれてゐる湯淺蹴球團は關西の雄にして隊員は極東大會及神宮大會に出場し何れも優勝の肩書を持つ粒選りの名選手揃ひで、其の統制あるチームワークや續出するフアインプレーは必ずや觀衆をして魅了し去るであらうと云はれてゐる

これに對する滿洲國新京チームはシーズンに惠まれず練習出來ざりし憾みはあるも何れも腕に覺えの選手揃ひなれば當日は定めし肉彈相撃つ接戰を演ずるであらう

なほ湯淺蹴球團は三日午前八時着京驛着にて兩軍メンバーは左記の通りである

湯淺　橋川　川野　田井　谷田　部地　高中　堺壇　吉台　若瀬　安宮　渡邊
F・W　H・B　F・B　G・E
京新　普義吾法常　儉甫積青眞　元馨忠恒青春克文玉德天　陳李由劉李谷干陶韓王劉

蒙古王飛行機の旅

巴林王始め蒙古王七名は一日赤峰から飛行機で來京せるが日を改めて執政溥儀氏、並に武藤司令官を訪問することゝなつてゐるが現在北平にある蒙古を除けば本日來京の蒙古王は蒙古全部を網羅せるものであると

新國幣百圓券

十日からお目見得　意匠は十圓券と同じ

滿洲國の新國幣百圓券は東京內閣印刷局でかねて印刷中であつたがいよく出來上つたので近日中新京着來る十日から全滿一齊に市場にお目見得することゝなつた、新百圓紙幣は中央銀行の方針に基き意匠は現在發行の十圓紙幣と同樣でたゞ大きさが縱橫やゝ大なるものである

大穴續出して人氣愈よ湧く

けふから春の大競馬

待ちに待つた新京の春競馬大會は一日午前十時から絕好の競馬日和に惠まれ新京競馬場で駿足勇ましく煙火を相圖に華々しく火蓋は切つて落された、この日競馬場へはファンが殺倒し開始前早くもスタンドは黑山を築き第一競馬から大穴續出し素晴しい人氣を湧かし馬券發票には押すな押すなの大騒ぎを見せた、午後に入りファンは倍加し非常な盛況を呈した

英船員拉致事件眞相

先づ發砲して英國船を停船せしめ悠々と仕事を完了

(營口卅一日發國通)營口に於ける英國人船員拉致事件の眞相は左の如くである

『上海』を拔錨した營口舊市街太古洋行英人經營所有船南昌號(約一、八〇〇噸)は廿九日午前十時半頃營口港山の西方六キロの地點に還して投錨、パイロツトの來船を待つて居たが、午後一時頃突如同船目がけて數十發の小銃を發射せる怪ヂヤンクあり、船長英人エ・バ・ロビンソン氏は直ちに船員に命じて拔錨、出航せんとしたが、銃聲に驚いた六十名の滿人船員は各自室內に避難して作業に就かなかつた爲め、二隻のヂヤンクに分乘せる約卅名の海賊は南昌號の兩側より乘船し、甲板に殘りたる運轉士シー・ジヨンソン(三〇)ダブリユー・イー・ハーグレイヴ(二五)機關士エ・ヴイ・ブリウ(二八)エフ・エル・ピアース(三〇)四名に銃を擬して、之を縛り上げ、ヂヤンクに引下ろして海上を北方へ逃走した

『同船』は午後四時營口に入港したが、營口海邊警察隊及び日本憲兵隊は、同船の入港後本事件を聞知し活動を開始したものである、尚ほ同船水夫二名は賊の外れ彈に當り重傷を受けた

捜査方法を日本官憲に依賴

(奉天卅一日發國通)營口に於ける英人船員拉致事件に就き在奉英國總領事メイヂヤー氏は本日午後一時半奉天着警務廳に三谷廳長及び傳外事科長を訪問、一時間半に亘り救出方を懇談、同三時辭去した尚傳科長及び■利特高課長は明一日午前奉天を出發、之れが對策協議のため營口に急行する事となつた

陸海とも嚴重捜査中

(營口卅一日發國通)當地海邊警察隊は目下海上を漁業島のジヤンク、其他の船舶を出して捜査すると共に、陸上は王殿忠軍、地方警察、憲兵隊等の關係各機關に依賴して賊の根據地と目される磐山方面を捜査中であるが拉致された匪名の英人の生命は今の所別狀ない模樣である

賊は二界溝より上陸

(營口卅一日發國通)營口海邊警察隊は日本官憲の應援を求め海賊を急追中であるか、未だ端緒を得るに至らず、賊は二界溝より上陸青水溝方面に逃走した模樣である

英國軍艦一隻昨日營口に入る

(營口卅一日發國通)秦皇島に停泊中の英國東洋艦隊所屬軍艦一隻は日滿官憲の英人捜査に協力するため卅一日午前十時營口に入港した、尙旅順より急遽廻航された我が驅逐艦〇〇艦長も續いて宮部隊長と協議する所あつた

英艦長が日滿と救出法を協議

(營口卅一日發國通)三十一日午前營口に入港した英國軍艦艦長フオード。ハルミル中佐はクラーク副領事同道、午前十時半海邊警察隊に宮部隊長を訪問し、滿洲國官憲の捜査に關する努力を希望すると共に、今後の捜査方針に關し打合せを爲け、同十一時辭去

海賊に政治的色彩

(營口卅一日發國通)英人を拉致した海賊は政治的色彩を多分に帶びてゐる形跡あり南昌號を退去するに際し積荷に何等手を付けなかつた點、英國人のみを拉致した點より見て、日滿兩國を國際的に窮地に陷れんとする一手段に非ずやと見られてゐる

漁業局警備隊と三十分間交戰

(營口卅一日發國通)船長ロビンソン氏の語る所によれば海賊船が襲來したときには附近に三四隻のジヤンクが停泊して居た、海賊船は發砲するや、矢の如く南昌號の船側に近付き、乘船して來た賊は灰色の軍服及び便服を着して居り、敗殘兵である事は略ぼ明かであるが、同海賊船は廿九日午　十時廿分頃營口警察第七區二界溝(田庄臺驛より西方八キロ)南方四海里の海上に於て二界溝漁業局警備隊と約卅分に亘り交戰、遂に退せられたものである、

空中より捜査せるも尙手懸りを得ず

(營口卅一日發國通)營口海邊警察隊では三十日早朝より警備用の水陸兩機を以つて海上陸地を限なく捜索を行つたが海賊船の手懸りを得るに至らなかつた

傷病兵來京

一日正午着十八列車で吉林より負傷兵四名來京新京衛戍病院分院に收容された

母國見學　高女生旅行記

第一信

三月廿五日

この日を私達はどんなに待つて居つた事だつたらう、內地!、母國!、もう二ケ月も以前から毎日待つて居たのだいや入學してから樂しい今日の日を待つて居つたかも知れない、憧れの母國!櫻の咲く母國!私達の半分位のものは滿洲產だ一体祖國はどんな所だらう祖國の前衞!である私達は自分の母を知らない子供のお母さんを慕ふやうに何時もく內地に憧れてゐたのだ、それが愈々懷しいお母さんに御會ひする事が出來るのだと思ふともう何事も忘れて只出發の時を待つばかり。午前中私達は出發に先立ち長春神社に參拜して一路の平安をお祈りした。午後十時出發だが早くも八時頃より驛に集る、九時前には附添の先生方もお見えになる愈々乘車、ホームには父兄の方やお友達や先生方が澤山お見送りに見えられる

こんな樂しい旅行にもいざ出發となるとなんだか別れが惜しまれて名殘惜しさが一入感ぜられる、やがて發合圖信號のすさまじいマグチシウムの一爆によつて首途の記念撮影

再び乘車、忙しい一分鈴の響汽笛一聲喜びの旅途に就く

車は樂しさ、嬉しさ、喜びの希望を滿載して靜かに亡る、范家屯ではMさん、公主嶺ではAHKさんも乘り込まれ全員打揃ふ。

折しもミゾレ雪降りしきる四平街でも原でも雪を冒して父兄達が御見送りに出られる、先生方は一々應接せられる、十二時、一時一向にねつかれない

鐵嶺と云ふに早目覺めあちらこちらに笑聲が聞える

午前七時奉天着暫し憩ふ間もなくやがて安奉線の客となるミゾレ雪尙しきりに降つて連山の風景や殆んど眺め得ざるも昨夜の疲れに一同半ば夢心地橋頭で初めての驛辯當を配られる

午後五時二十五分安東着、稅關の檢査も無事パスこゝで專用車のマークを附けて頂いて一同喜ぶ、明くれば風光全く一變して白衣の朝鮮の人達象の樣な茅屋續く流れ山上の松の木、滿洲とはかくも異るかと驚く

麥は早や二三寸伸びて春の訪れを知らせてくれる

午前七時四十分京城着、急ぎホームにて洗面をすまし飛び乘る、永登浦にて朝食湯茶の準備までもして頂いて一同滿足

成歡驛にて親切な車掌さんは私達に日清戰爭の說明をして下さつた、沼には驚なごゐたりして本當に珍らしい、金泉、秋風嶺、小井里、琴湖、滿州の驛名と異つて何れもやさしい文學的の名前も面白い、南に進むに從ひて麥はだんく

伸び竹籔や柿の木等もあつて暖國が偲ばれる、櫻も大分蕾がふくらんで居る、出發以來殆んど雪曇りで蔽はれた空も氣持よく晴れて我行を壽ぐやう

太田では晝食、大邱では早夕食が準備された、驛辨の一件から間食禁止令の御發布も出やうとしたが危いところで取消していただく

母國をさして行こよ
釜山の空は朗らかに晴れて
樂しい心
湧くは胸の血潮よ
たたへよ我が春よ
いざけけ別府東京日光迄も!!

之を丁先生のお作、一同合唱して陽氣になる、七時釜山着。(別府花菱旅館にて)

押營匪

前頭甸子の自衞團に擊破さる

三十一日午後三時頃頭目押五營の率ゆる二十五名の騎馬賊大楡樹驛西北方二十七支里の前頭甸子を襲擊せんとしたが同地自衞團に事前に探知され交戰約三時間にして賊は重傷二名を遺棄して北方に潰走した

野球蹴球の外に各種チームも作る

十四日には役員會

滿洲國体育會ではスポーツにより心身の堅實なる發達を計る目的の下に各方面の意見を徵しこれが發展を期してゐたがオープンスポーツ期に入ると共にその第一歩として野球チーム、サツカーチームの誕生を見たが更にテニス、各種トラツク、バスケツトボール、バレーボール等のチームを作り、六月初旬日滿聯合建國記念運動大會を催すべく十四日全滿体育會役員會を新京に開催運動會の打合、チーム作成に關し協議をする事となつた

宇品港內で小蒸汽積載爆藥爆發

乘組員悲慘な最期

(廣島一日發國通)廣島縣佐伯郡大野村山本寅藏(三三)所有の天力丸(五〇噸)は大阪よりダイナマイト四十五箱、雷管五箱、導火線三十箱を積載して宇品港に向け航行、三十一日早朝宇品棧橋沖約二丁に碇泊したが、午後十時半頃突如發火し積載せる火藥に燃え移り一大音響と共に爆發し、船体は木片微塵に粉碎され、乘組員寅藏及び妻キヨミは慘死した、爆發と同時に宇品町向宇品の一帶の町家硝子窓は此の音響の爲破壞された、また附近の山林にも飛火したが大事にいたらなかつた

東京札幌間の定期飛行は來春から

(東京一日發國通)日本航空輸送會社の東京札幌間定期飛行は來春四月から實施の豫定で愈々北海道、九州間が僅か二日で結ばれるわけで昨秋來工事を急いでゐる、仙臺、青森、札幌の三飛行場は三月來迄に何れも完成、仙臺飛行場は去る十七日開場式を行ひ、青森、札幌の兩飛行場も近く開場式を舉げる運びとなつて居る、向ふ一ケ年間各飛行場に格納庫を始め滑走路航空氣象臺、羅計盤、移風器、夜間着陸證明燈等を設備し定期飛行を開始の筈である

日本基督集會

▲日曜學校九時―十時
▲朝の禮拜十時―十一時、演題聖靈の　滿外村牧師
▲夕の禮拜午後八時―演題トマスセパードに就いて吉川牧師、キリストとは何ぞや外村牧師、どなたでも御出席勸進

米國各州に大旋風

死傷者多數

(ニユーヨーク三十日發國通)三十日よりルイジアナ州テキサス州東部、アーカンサス州西南部一帶に大旋風襲來し、死者二十數名、負傷者六十余名を出した、尙ほ增加の模樣

太子堂で畫の即賣會

東京在住の崔圭燦氏は一、二、三の三日間太子堂で繪畫の展覽即賣會を開催するが右繪畫の中には松林桂月、尾竹竹坡中山秋湖等の諸氏の作もあるので同好者間には非常な人氣を呼んである、なほ同氏は即賣會で得た收入で新京に朝鮮人無料診療所を作るとの事である

淺田貴院議員

(東京發)貴族院議員淺田德則氏は麹町の自邸で三十日午前五時十八分心臟麻痺で逝去した

花街の噂　開花の京太郎

開花の京太郎、まだ新妓の方に數へられる方でせう、朝鮮黨の人氣をあつめてゐる、朝鮮黨と云つてもこゝにことわるまでもなく內地人であることは勿論です、それもその筈、京城の新花月といふ一流料亭で押しも押されもせぬ姐さん株だつたさうです。

×

これは所謂朝鮮黨がさう云つて居りますことを信用して置きます、彼女の瞳はたしかに男惹きつける魅力を多分にもつてゐることは、警察官の用語で申しますと「理認」しましたね。

×

それから彼女は中央ホテルの方に足を向けては決して寢ないさうであります、どうして寢なんでせう、中央ホテルの先の方は西公園の入口がありましたが、今は道路改築のために門も取毀れたかと思ひます。その門內には春の女神像が立つてゐました。まさかあれに對して、足を向けて寢ないといふやうな殊勝な心掛ではありますまいハチは

ラヂオ欄

二日(日)　奉天

新京前一一、五〇講演「事局ニ際シテ」滿洲國外交部宣化司長川崎寅雄(內地向)
新京後五、〇〇レコード
東京後五、二〇演藝
新京後六、〇〇ニユース東京中央放送局編輯
新京後六、二〇時事解說「滿洲語」氣象豫報及滿洲語ニユース
奉天後七、〇〇ジヤズブロードウエージヤズバンド
新京後七、三〇音樂
新京後八、〇〇ニユース朝鮮語
新京後八、一五ニユース氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇時報
東京後八、三一ニユース東京中央放送局編輯
新京後八、五〇時事解說滿洲國ニ於ケル朝鮮人ノ現在及將來(朝鮮向)新京朝鮮人居留民會長金東晚

幕末異聞

愛慾火箭

作　瀧川駿
畫　村瀬洗舟
（上演上映）

（十九）

鷹の白骨（五）

白濁にある別所若狭の邸を後にして、若狭と刑部を乗せた二挺の駕籠は、千鳥城に向つて急いでゐた。

大濁川を隔て、嫁ヶ島の稲荷神社の赤鳥居が、常磐木の間からくつきりと美しく際立つて見えた。

白濁の濠について、左へ廻つた所。それからずうと、櫻[並木?]が大手門まで續いてゐた。

千鳥城は、慶長年間。豊臣の勇將堀尾吉晴が濱松から轉封して來た時、特に末次の要害を選んで築いた、山陰無雙一の名城である。

龜田山の頂上にあつて、前は、宍道湖に臨み、背後には伯耆大山が迫つてゐる、實に山陰道の咽喉に當つてゐた。

一の大門を潜ると、なだらかな坂道になつてゐた。駕籠が二の大門の手前まで來た時、先頭の駕籠に乗つてゐた若狭の聲がした。

『駕籠を左へ廻せ』

『えゝ？』

駕籠舁は、意外な言葉に振返つた。

『二番庫の方へ行け』

二番庫と言へば、この大門を潜つて、左へ廻つた兵糧庫と仕置場との奥にある武器庫であつた。

茫々と草の生茂つた、晝でも狐狸の現はれる、天主閣の裏の方にあつた。青苔の繁つた椎の木に、五位鷺が飛び廻つてゐた。

『駕籠を停めい』

『はつ』

駕籠はその場に、ぴたりと停つた。小者の揃へた草履の上に若狭は駕籠から出て立上つた。

『刑部どの』

刑部の駕籠を見返つて、若狭は聲をかけた。

『着き申したか？』

昨夜の疲れか、刑部は駕籠の中でうと／＼してゐた。

『お立ち下されい、貴殿に見せたい品がござる』

刑部は眠ぼけた顔をして、駕籠から出たが、意外な處なので刑部は些か驚いた風だつた。

『さあ拙者に從いてお出で下さい』

駕籠を乗り捨てた、若狭は刑部を誘つて、雑草を踏みしだいて、二番庫の奥の方へ歩んで行つた。

高い保障のてつぽう濠から、遠景の宍道湖が寫繪のやうに美しく見えた。

若狭が刑部を連れて這入つた庫は、お咎め庫と言つて、切腹、打首など士分以上の刑に處せられた人々の骨の藏してある庫であつた。

白晝でも薄暗く、四邊の棚の上に並べてある白骨から何となく無氣味な陰氣が放たれる。凄味で滿ちてゐる庫だつた。

『刑部殿』

立停まつて若狭は刑部を呼んだ。

『はつ！』

身體中一杯に、鳥肌を立てゝゐた刑部は、我が名を呼ばれてはつと氣がついた。

『あれを御覧なされ』

若狭の指指す方を、刑部は眺めた。

『おーーツ』

刑部の口から、驚きの聲が漏れた。

そこには、白骨二つ、それには望月六郎、三田隼人と記してあつた。

この時、彼方の戸がすうつと開いて、

『殿の御入來』と、言ふ聲がした。雪洞を持つた小姓が二人先に立つて、續いて雲州[?]十八萬五千石の領主、松平出羽守が、二つ瓶子の定紋の付いた伊達羽織を着てずいと這入つて來た。

『刑部！』

少將に呼ばれて、刑部ははつとして一足退つて頭を下げた。

『其方の願ひ通り妻六の仇討を差し許す。但し助太刀は一切相成らぬ。その代り其方の役を召上げる！』

四月二日　舊三月八日　日曜　戊戌　佛滅　危　星宿

●一白の人　一時は發展する如く見へても半途に挫折す　乙さ巳さ庚が吉
●二黒の人　陰氣に閉さるべく氣を晴々さ持つが尤肝要　丁さ庚さ戊が吉
●三碧の人　氣運は平靜を保つ焦らざれば追々さ良化す　乙さ壬さ癸が吉
●四緑の人　心中に多少の苦勞あれども迷はず進むに吉　乙さ子さ癸が吉
●五黄の人　去就決せずして機を失ふ思立てば準備に吉　戊さ亥さ丑が吉
●六白の人　徐々さ達成の道に入らんさす努力の功あり　辛さ亥さ寅が吉
●七赤の人　口を愼み骨折を辭せざれば意外の吉慶あり　庚さ戊さ亥が吉
●八白の人　目先きの小事は成れども大事は破れ易き日　丁さ辛さ丑が吉
●九紫の人　忠實に本分を守りて怠らざれば相應の利得　乙さ丙さ丁が吉

南滿線（時刻表）
大連開｜周水子｜金州｜普蘭店｜瓦房店｜熊岳城｜蓋平｜大石橋｜海城｜湯崗子｜鞍山｜遼陽｜蘇家屯｜奉天到｜奉天開｜鐵嶺｜開原｜昌圖｜四平街｜公主嶺｜范家屯｜長春到｜長春開｜范家屯｜公主嶺｜四平街｜昌圖｜開原｜鐵嶺｜奉天到｜奉天開｜蘇家屯｜遼陽｜鞍山｜湯崗子｜海城｜大石橋｜蓋平｜熊岳城｜瓦房店｜普蘭店｜金州｜周水子｜大連到
[illegible]

新京日日新聞
定價 一部金三錢 一ヶ月金八十錢 [illegible]
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話 二二五〇三・三〇〇番
發行人 十河[illegible] 編輯人 松本[illegible] 印刷人 谷[illegible]

國際的孤立の日本 脱退後の外務省は

世界文化事業に力瘤を入れる 目下具體案作成中

【東京一日發國通】我國では聯盟より政治的に分離するも國際的文化事業協力方針は變更せず、保險、衛生、學術等の平和事業には協力すること決してゐるが、内田外相は脱退後の第一着手事業として比較的に看過されてゐた國際文化の交換及び對外文化事業聯絡の助成を計ることに決定し、外務省内に中央機關として國際文化事業部を新設することゝなつたが、右事業部は内田外相の腹案に依ると我が文化の對外宣傳の中央機關として大公使館の文化事業を督勵すると共に協會の聯絡機關として援助するものでこれが完成は坪上貞二文化部長が起案中だが九年度より實現の筈

モスクワの外國人 重要書類を自國大使館に保管

【ロンドン卅一日發國通】英國人技師四名がモスクワに於て勞農官憲に逮捕された事件につきその後モスクワより當地に達した情報によれば右事件はモスクワにある外國人の間に異狀のセンセイションを捲き起し多くの外國人は萬一の場合を考慮し貴重品、重要書類を在モスクワ自國大使館に保管方を依賴してゐると

國民精神作興の爲め 文部次官訓令

【東京一日發國通】文部省は曩に發した文部大臣の聯盟脱退に關し國民の覺悟を促す訓令の主旨を徹底せしめる爲め三十一日各地方長官及び直轄學校長並びに公私立大學高等學校及び專門學校長宛各別に文部次官訓令通牒を發した、右訓令に含まれてゐる指導要項實施要項は左の如し

△指導要項

時局の眞相を明かにし、正義に立脚せる國民的信念の透徹を圖ること、忠誠なる思想を堅持し各其の分に勵みて奉公の誠を盡さしむこと

社會の現狀に鑑み相戒めて風教の肅清に努めしむること、堅忍持久の精神を養ひ克己の生活に耐へしむること

△實施要項

敬神崇祖の思想の徹底、國旗掲揚の奬勵、時局に關する訓話、體育の奬勵、團體的行動の訓練、公共的運動に對する協力の奬勵風紀の肅正並びに生活の緊張に關する共同的行動の奬勵、困苦缺乏に耐ふる訓練、警備防空の訓練

建川中將東京着

【東京一日發國通】壽府軍縮會議陸軍全權の建川中將は一日午前八時半東京驛着歸朝したが諸般の報告其の他の要務を終へ次第第〇〇師團留守司令官として姫路に赴任の筈である

政友政調 五部門に統轄

【東京卅一日發國通】政友會では今後の政局に處するため政務調査會に全力を擧げる事とし其の第一歩に調査會の根本改革を考慮して居たが、本日午後一時本部に永田、砂田、長島、太田の各正副會長參集協議の結果從來の十三部門を左の五部門に統轄し就任には從來の總花的人選を廢し、適所適材衆議によるを決定した

第一部　外交、拓務
第二部　内政
第三部　財政、經濟
第四部　國防
第五部　產業

尚ほ從來濫設せる特別調査會を全部廢止し、思想、教育特別委員會、經濟特別委員會、特別思想對策、日滿經濟統制に就き根本案を得るに努力する

松岡帝國全權 ワシントンの墓に詣で 大統領その他と會見

【ワシントン卅一日發國通】松岡代表は三十一日午前九時ホテルを出で自動車でバルナントン山のワシントンの墓に詣で、出淵大使の案内で正午白堊館にルーズエルト大統領を訪問した、大統領は内政問題に忙殺されてゐる折であり且又松岡代表としても公式使命を帶びてゐないので、右會見は特定の目的を有せず、敬意を表するのが主眼であつたが十三分間餘に亙つて懇談した、次いで國務省にコールデン、ハル氏を訪問、更に國務次官フイリツプス氏とも懇談した

右の會見は何れも十三分間餘であつた、午後は英國大使リンゼイ氏を訪れ午後五時前國務次官キヤツスル氏の午茶の會に招かれた

園公訪問後の首相 對政局問題協議

【東京一日發國通】齋藤總理は明日園公を訪問し、對政局の所信を披瀝し公の意向を徴し歸京後直ちに高橋藏相、山本内相と會見して之れを報告し、對政局策を協議するが場合に依つては鈴木總裁若槻總裁を訪問するかも知れぬと觀られる

第十五回國際赤十字會議 來年十月東京で開催

【ブラツセル卅一日發國通】過般來ブラツセルに開會中の赤十字國際會議常置委員會は三十一日の會議に於て第十五回赤十字國際會議を一九三四年東京で開催に決定、會議の準備に關し左の諸項を決議した

一、一九三四年第十五回赤十字國際會議を東京に開催す
一、開催期日は一九三四年十月二十日とす
一、各國赤十字社は有力代表を東京に於ける十五回會議に派遣する事

尚常置委員會には日本代表として日本赤十字社海外駐在代表山田四郎氏が出席した

ハンブルグの蘇聯通商部 捜査さる

【ハンブルグ三十一日發國通】當地官憲は蘇聯總領事館内にある蘇聯通商貿易代表部の家宅捜査を行つたが、右は同所に共產黨ダイトマンが潛入してゐる疑ひがあつた爲たが警察隊は空しく引揚げた、尚官憲共產黨撲滅に益々辛辣となりつつあり

海軍新豫算の施行で 各方面設備擴張

【東京一日發國通】海軍では明年度豫算施行に伴ひ四月一日より諸部各方面の人員を增加設備を擴大するが、主なるものは左の通り

一、艦政本部は七部制に復歸し、第一部長は現在の儘、第二部長は少將級の部員を置く
一、航空本部の總務部擴張、第一、第二の二課制にし新たに大佐級の課長を置く
一、軍令部の三班制を四班制として第三班は情報、第四班は通信事務とし、第三班長古賀少將が兼務する筈

最終日の師團長會議

【東京一日發國通】軍司令官師團長會議最終日の第三日は教育總監部會議室にて開會し、江臺灣、川島朝鮮兩軍司令官鎌田近衛、森第一兩師團長を始め各師團長及び留守司令官中央部からは林教育總監、香椎本部長、畑砲兵監吉岡騎兵監、杉原工兵監、井上輜重兵監、柳川次官、眞崎參謀次長等出席劈頭林教育總監より非常時局に處する軍隊の教育養成及び兵備改善に伴ふ用意の教育養成方針に就き訓辭あり次いで香椎本部長より兵備改善に伴ふ教育方針の細目に就き說明した後、種々懇談を遂げ正午散會した

杉村陽太郎氏 瑞西出張

【東京一日發國通】三十一日の閣議で左の如く決定

正四位勳二等　杉村陽太郎
任特命全權公使（一等）スイスへ出張仰付ら

福建共產黨軍 策戰計畫書暴露さる

妙齡の婦女子を利用して 官兵を誘惑させる

【天津三十一日發國通】厦門發電信によれば上海事件で勇名を謳はれた十九路軍は現在福建に移駐林泉（福建西部）方面の共產軍討伐に從事し、二月中匪賊の本據たる長汀連城の兩縣を包圍して居り、賊もこゝを離れては一大事と頑強に抵抗持久戰の形で對峙してゐるが、一賊匪の捕虜懷中から頗る振つた匪賊の策戰計畫が現はれた

一、黨員中の青年婦女子を總動員し物賣或は洗濯女に扮裝して官兵に近づき出來得る限りの媚態を盡して官兵を競爭せしめること革命の手段なれば之に從ふ婦女子は決して恥しく思つてはならぬ、但し第一回に深入りして放蕩に流れ或は敵に怪しまれてはならぬ、三四回接近後はじめて官兵の意に從ひ、その銃を盜んで逃げ歸るべし

二、各級ソヴイエツトより運動資金を支給するにより、官兵に密着後は放蕩を以て向ひ得ざる際は、なるべく少額の現金を與へて彼等を誘ふべし

三、官兵が我戰線に入りたる後は三人を以て一人を監視し秘密に一人づつ處決すべし、決して他人に洩し又は逃走せしむべからず、彼等は到底吾々の同志とはなり得ざるものなれば、緊急の際かゝる邪魔ものを永く留むべきに非ず、蔡廷楷も沈光漢も早く來い、我等の準備は既に出來た

蘇曆一九二三年二月廿五日
閩西ソヴイエト委員

山崎理事歸來談

滿鐵の責任は重大

【大連一日發國通】うらる丸で歸任の山崎理事は語る

社業要務を果す爲の上京で土產話もない、增資問題は豫想外すらすらと運んだこれは滿洲に於ける滿鐵の立場を重視し社業に對して信頼と期待を懸ける處大なるものがある爲であらう、滿鐵としても、うつかりした事はやれぬ、製鋼所問題が拓務省の承認を經た樣だし、近く正式に認可があるだらう。專任社長を置くかどうかは未だ決定してない關稅問題も解決したし業務開始も遠い事ではない、區域問題か、僕は當面の責任者でないから良くはわからないが其の内には解決をするよ

滿鐵七年度決算

輪廓を鮮明にした

【大連卅一日發國通】滿鐵七年度會計年度は三月卅一日で終るが、七年度營業收支の決算は四月末迄に作成、六月株主總會の承認を得、八分配當に決定する、從つて七年度營業收支は年度を終つても見込の域を脫せないが二月末作成した決算見込數字及び最近の鐵道收入より推せば、略々その輪廓を鮮明にして來た、即ち三月廿九日迄の鐵道收入は

（單位圓）

項目	金額
客車收入	四、六四、九六八
貨物	八六、八〇四、七三
運行	四八、〇八
雜	二、八六二、八六八
計	一〇四、四三〇、九三三

で、最近鐵道收入は一日平均卅、八萬圓だから卅一日の分を加へると一億五百萬圓を越える可く、從つて七年度滿鐵全体の純益は一千七百萬圓余と想像する

行政委員長就任の 汪精衛は語る

辭退してゐた行政委員長に就任した汪精衛は語る

常務委員會の決議もあり各方面の切なる勸告もあり時局多事の際であるので感ずる處あり休會明け出席したのだ抗日部隊戰鬪の爲め北上することは久しい間の懸案であるが久しく休暇を取つてやすんでゐたので重要事務山積之れが爲め北上は見合はせる、自分の主張は終始一貫歩一歩進める積りである云々

而も汪精衛今回の復職した裏面の理由は蔣介石の態度如何に依るもので蔣介石も最近反蔣氣分濃厚の際更に汪精衛を向ふに廻すことは不利であるから相當讓歩して汪の意見を容れた結果であると

露滿兩國間の懸案につき

施外交代表外人記者に語る

當地に達した情報によれば滿洲國北滿外交特派員施履本氏はこの程外人記者に大要左の如く語つてゐる、即ち

一、露滿兩國の國境設定のため日滿露の共同委員會がハルビンに開催される運びに至れば日本側より森島ハルビン總領事滿洲國側より施履本氏勞農側よりスラウツキー總領事が代表に任命される事

一、從來露滿國境に惹起した紛議に鑑み露滿兩國の國境設定は嚴密なる事を要する

一、右共同委員會は日滿露の三國間の不可侵條約締結の前提とする向もあるが、露滿兩國間には同條約締結の交渉はなほ開始されてゐない

一、右委員會に於て松花江、黑龍江の航行權問題が審議されることになろう

一、共同委員會の開催については、さきに滿洲國政府より蘇聯側に提議したが蘇聯側よりはなほ之に對する正式な同意の回答がない

一、蘇聯側が、滿洲國の熱河肅正工作を機會として反滿を庇護し蘇炳文との殘下千餘名を熱河方面に輸送せんとしたことに關しスラウツキー總領事を通じ蘇聯政府に抗議を提出したが蘇聯政府よりは尚ほ何等の回答がない

一、最近在ブラゴエシチエンスク滿洲國領事館の李書記生がゲ・ペ・ウに逮捕され、領事の斡旋により釋放された事件があつたが、眞相取調べの上スラウツキー總領事に嚴重な抗議を提出する

低金利潤の再現

起債界はインフレ謳歌

【東京三十一日發國通】最近の金融緩漫低金利潤再現に乘じ事業會社は、それ夫關係筋の銀行及復活會社に對して起債交渉を開始した差當り發行されるもの人は滿鐵、臺灣、電力、日本人造肥料等で此外借入金の社債乘換へ、高利社債の低利借換事業資金の新起債等起債も續出の樣で、茲暫らく起債界はインフレーション謳歌時代を現出するであらう

新京財界概況（三）

（昭和八年一月中）新京商工會議所調査

綿糸布相場

品名	上旬（圓）	中旬（圓）	下旬（圓）	最高（圓）	最低（圓）
撚糸双雁	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
塗塔16手	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
粗布塗塔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
細綾人面	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
細布軍人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
細布探球	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大尺布人抱魚	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

白米、哈爾賓方面より特產の馬車輸送さるゝもの相當有りし返り荷として哈爾賓に仕向けられたるもの六百俵計り有りしも南方との相場は出會はず殆んど地元消費に限られ居る爲め相場は依然釘付のまゝ推移せり

品種	單位	上旬（圓）	中旬（圓）	下旬（圓）
特等白米	一石	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一等白米	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二等白米	同	[illegible]	[illegible]	[illegible]

木材結氷期中にて需要少なく相場も殆んど保合のまゝ推移せり

品種	單位	一月末（錢）	二月末（錢）
紅松柚角（二間物）	一才	[illegible]	[illegible]
同（四間物）	同	[illegible]	[illegible]
同挽材	同	[illegible]	[illegible]
同四分板	一坪	[illegible]	[illegible]
同六分板	同	[illegible]	[illegible]
白松柚角（二間物）	一才	[illegible]	[illegible]
同（四間物）	同	[illegible]	[illegible]
同挽材	同	[illegible]	[illegible]
同四分板	一坪	[illegible]	[illegible]
同六分板	同	[illegible]	[illegible]
胡桃柚角	一才	[illegible]	[illegible]
鐵道枕木	同	[illegible]	[illegible]

支那への輸入品

地名登記規定は排貨運動に轉ぜん

【天津一日發國通】中國政府は各國よりの輸入品は凡て原產地名登記を必要條件とし、八月一日より之を實施する旨各海關が布告を發したが、支那の現狀から見てかゝる規定を承認する場合は直ちに排貨運動に乘ぜられ、將來對支貿易上の癌となるべき虞れが十分にあるので、之が廢止運動が擡頭せんとし、上海に於て已に商業會議所で火蓋を切つたが天津に於ても之に呼應し萬國爭議聯合會で對策協議中なるも近く當局に之が考慮を促すことゝなるだらうと見られてゐる

日銀支店長會議

【東京一日發國通】日銀では五月上旬支店長會議を開催し非常時財界の金融問題を打合せる筈

吉田大使 尚ほ入院加療中

【アンゴラ三十一日發國通】駐土吉田伊三郎大使は過般來病氣入院中の所愈々腸チブスと決定した大使は尚暫らく現在の療養所で加療を續ける筈

古北口南關の 支那野戰病院

傷病兵はたゞ死を待つのみ 手當も給與も不充分

【天津一日發國通】益世報刊臺發通信によれば古北口方面の傷病兵收容の爲め同地南關に病院が開かれ第二十五師の傷兵六百餘名收容されたが院內狹隘なる上に汚く且つ日光空氣の流通惡く床もベツトも惡く、地上に乾草を敷き木材を枕にしてゐる有樣である食糧は朝は粥一杯、夕食は饅頭三個を支給するに過ぎず、病院の醫藥手當は名ばかりのもので傷兵は傷の痛みに死を待つばかりの悲境にあると

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	一七片八分三
同遠限	一七片一六分七
紐育銀塊	二七仙四分一
孟買銀塊	本日休會
米英爲替	三弗四二仙〇〇〇
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
アナンゴダ株	[illegible]

▲綿花

●米綿

限月	相場
現物	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
十月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
一月限	[illegible]

●印綿 本日（ブローチ、ベンゴール、オムーラ）

▲上海票金 作値 高値 [illegible] 休會

▲上海倫敦向　安値 本寄 歩値 [illegible]
▲上海紐育向　遠値 買値 [illegible]
▲上海日本　第一回 第二回 第三回 [illegible]
▲阪神日英爲替　賣値 買値 [illegible]
▲大連鈔票　現物 近期 付値 寄値 歩値 [illegible]
▲大連上海向　引値 高値 安値 出來 [illegible]
▲大連煙台向 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回 第二回 [illegible]

各地市場

▲大坂株式　大株 大新 鐘紡 新 [illegible]
▲同　短期 [illegible]
▲大連株式　新 東新 鐘新 [illegible]
▲大阪三品　五品 新 豆錢 鈔 [illegible]
▲大阪花　當限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 先限 [illegible]
▲大阪米　當限 先限 [illegible]
▲仁川期米　當限 中限 先限 [illegible]
▲横濱生糸　當限 中限 先限 [illegible]
▲大連特產　現物 當限 先限 [illegible]
●大豆　袋込 三月限 四月限 五月限 六月限 [illegible]
▲哈爾賓特產　●大豆 ●小麥 ●高粱 [illegible]
▲カルカツタ麻袋　青筋 鐵筋 爲替 [illegible]
▲大連麻袋　現物 七月限 九月限 出來高 [illegible]

新京市況

大豆 出來高 現物 [illegible]
高粱 出來高 現物 [illegible]
小豆 出來高 [illegible]
▲錢鈔（現物） 鈔票對金票 大洋對金票 國幣對金票 大洋對鈔票 [illegible]

航空郵便時間 昨日から變更

航空路の連絡も種々變つて スピードアップなる

四月一日より滿洲航空會社の航空便は夏期ダイムグラムに運航時刻を改正され

＝從來＝に比し一層の「スピードアツプ」を實現する事となる、幹線たる齊々哈爾新義州線は往復さもチヽハル迄に延長され其結果京城午前七時半發の日滿連絡航空便はチチハルまで直通し、又日本内地さの航空メールは第一日午前七時東京し連絡は第一日午後四時二十九分チヂハル着に改正せられ、又奉天大連線は往復さも奉天でチチハル便に連絡しチチハル大連間飛行所要時間は八時間五十五分齊々哈爾及大連互地早朝發の航空便は何れも

＝午後＝四時前後目的地に到達し、滿洲國内南北幹線及滿日連絡線さも從來に比し著しく速達を見ることゝなる、新京からの日本内地行航空郵便は從來通り午後十時新京發列車便で、奉天迄送り奉天午前七時半發新義州經由福岡行航空便に連絡を圖ることゝなつてゐる、なほ滿洲國郵局では市内富士町の頭道溝郵局が航空便の發着

＝事務＝を取扱つて居る改正時刻は次の通りである

海拉爾、▲義州線（新義州發着時刻は滿州タイム）

驛				備考
海拉爾	發 後 一、五〇	着 前 一〇、〇〇		毎週二往復(月、水)
齊々哈爾	着 後 四、二〇／發 前 七、〇〇	發 前 七、〇〇／着 後 四、五〇		
哈爾濱	着 前 八、四〇／發 前 九、〇〇	發 後 二、四〇／着 後 二、一〇		毎日一往復
新京	着 前 一〇、四〇／發 前 一一、〇〇	發 後 一、〇〇／着 後 〇、四〇		
奉天	着 後 一、〇〇(後一、三〇發大連行に接續)	發 前 一一、一〇 前 一〇、〇〇着大連便を接續	發 前 七、三〇／着 前 一〇、三〇	曜を除き
新義州	着 前 八、四五／發 前 八、五〇	福岡へ 着 前 九、三五	京城より	毎日往復(日本航空)

大連、奉天線

驛			備考
大連	發 前 七、三〇	着 後 三、五〇	毎日一往復
奉天	着 前 一〇、〇〇	發 後 一、三〇	

●、◎、龍井村線

驛			備考
新京	發 前 八、三〇	着 後 二、三〇	
吉林	着 前 九、二〇／發 前 九、三〇	發 後 二、一〇／着 後 二、〇〇	毎週三往復(月、水、金)
敦化	着 前 一〇、四〇／發 前 一〇、五〇	發 後 一、〇〇／着 後 〇、三〇	
龍井村	着 前 一一、三五	發 前 一一、四〇	

哈爾濱、富錦線

驛			備考
哈爾濱	發 前 八、三〇	着 後 三、〇〇	
佳木斯	着 前 一〇、四〇／發 前 一〇、五〇	發 後 一、〇〇／着 後 〇、四〇	毎週二往復(月、水)
富錦	着 前 一一、三〇	發 前 一一、四五	

熱河から歸つた

八木沼宣撫員語る

熱河宣撫班一行、百二十二名内二名戰死、一名凍傷は錦州◯團と共に出◯以來赤峰の幹線路方面は全く面目を一變した、其の他の方面では依然物資は極度に缺乏してゐるが關東軍では所謂民衆の救援の爲め、逃避せる民衆に皇軍來熱の意義を説いてその來に努め、或は地站部の創設に盡力して、後方からの物資補給をはかつて安維持會を結成して物資の供給を圖る等、慘澹たる苦心を續けてゐたが既に熱河幹線方面の工作も一段落ついたので一行中の八木沼關東軍囑託宣撫員は事務聯絡の爲めこの程來京して八木沼氏は熱河の治安恢復の近況に就いて左の如く語つた

承德では逃避せる民衆が悉く歸つて來た今日からは

＝學校＝も開けるし、物資の乏しい、つても民衆に

國の新治政に大きな期待を有つて業に安んじてゐる、朝陽赤峰の幹線路方面は全く面目を一變した、吾々に歸順を申込んで來る者も段々面目を一新して行くだらう、敗慘兵、殘匪で吾々は各種の民衆團體を縱斷的に組織し、之を横斷的に把握する方針を採つてゐる、國幣の流通の爲めには家庭を戸毎に訪問して積極的に活動した避難民の救恤に施療は最も民衆から喜ばれてゐる、承德では、粟粥で一千人を救恤し

我軍の行動を正しく認識の傳導師

出淵駐米大使に感謝

熱河省に約三十年宣教師さして傳導に從事してゐる英國基督教代表シヤ氏は昨年歸國途日渡米ワシトン駐在の出淵大使を訪ひ「自分は本年末渡支の予定であるが、最近日本軍が熱河攻略の際熱河宣教師に對し充分の保護を與へられたことは感謝に堪へない、同地住民は支那官憲の苛斂誅求に多年苦んで居た關係上定めて日本軍を歡迎しても居るであらうと思ふ云々」と述べた

が居るものかと眞面目に＝質問＝する等、文に驚異する純朴な蒙古人の姿が浮んで來るではありませんか、やがて活動寫眞もやつて見たいと思つてゐる、尚承德では紙飢饉の中で舊熱河公報を接收して、熱河新報を經營してゐる尚同氏は本夜直ちに引き歸す管

病が最も多く一昨日の蒙古人大會當日には藥が足りなくなつた程盛況であつた、蓄音機は大變な人氣で、この中に何た軍醫部では立派な設備を有つて各地に移動して施療をやつてゐるが患者は皮膚病、眼

愈よ新京にも放送局を新設

十日より本放送開始

新京市内商埠地東三馬路に新京放送局が開設され四月三日試驗放送の結果十日より本放送を開始することゝなつたが右は榮行く國都新京の姿を内地及び全滿各地に紹介する絶好の機會として在住者一般にも種々便宜を與へるものとなら、尚新京放送局の呼出符號はM・T・A・Y・波調は五二五、電力は一キロであるが將來は一層強力な機械を使用する筈である

看護婦試驗

五月一日から三日間 願書は十五日までに

關東廳施行の看護婦産婆試驗左記の期日により大連薩摩町大連醫院で施行されることゝなつた

一、願出期間　昭和八年四月十五日迄
一、試驗期日　昭和八年五月一日より三日間(當日午前九時より)
一、試驗場所　大連市薩摩町大連醫院
右は關東廳看護婦規則に依り願出のこと

産婆試驗
一、願出の期間昭和八年四月十五日迄
一、試驗期日　昭和八年五月四日より三日間(當日午前九時より)
一、試驗場所　大連市薩摩町大連醫院
右は關東廳産婆試驗規則に依り願出のこと

馬二頭强奪

三十一日午後四時頃市内西四馬路王華臣(四五)が伊通川沿岸で砂を採取中突如三名の拳銃强盗が現はれ拳銃を突付け脅迫の末王の馬三頭を强奪逃走した

猩紅熱發生

市内平安町三丁目三號中村幾男(四)は三十一日發熱し滿鐵病院で診斷の結果一日猩紅熱と判明した

峰に於る討熱完了慶祝感謝大會

三十日午前十一時赤峰孔子廟に於て熱河討伐完成慶祝大會

獨第二袖珍戰鬪艦 進水式を行ふ

(ベルリン三十日發國通)ドイツ海軍の精鋭で世界海軍界の新脅威である第二袖珍戰鬪艦エルサツク、ロートリンゲンは愈々三十一日ウヰルヘルムス、ハーヘンで進水式を擧行することゝなつた、同艦はスカーゲラツクと命名される筈又既に一九三一年五月進水を了した第一袖珍戰鬪艦ドイツチランド號も同じく三十一日就役することゝなつた

春陽うらゝか

藤村梧朗主演の チヤプリンの街の燈が呼もの

人氣いよ〳〵湧く

讀者優待天勝魔奇術大會

松竹派天勝、藤村梧朗、明石須磨子の三人をエツセンスした魔奇術とジヤズの大一座の開演はいよ〳〵

＝日睫＝に迫り春座の舞台係りはその準備に忙殺されてゐる、一方主催の本社へは種々の問合せ電話が間斷なくかゝり、その應接に弱らされてゐるが、本社は讀者優待割引に就てのみで他は一切興行者の方寸にあるのであるから、其方に照會を煩はしたい、然し此一行の内容の良さは推賞するに恥かしくないものがある松竹派天勝は數年前から慧星の如く現はれたもので技藝松旭齋天勝の壘を摩し、新松旭齋天勝と共に天下の三天勝さ謳はれ、最近はま　進境著しいものがあるとの事である、藤村梧朗と明石須磨子のコンビチージヨンは一昨年來演當時を遙かに凌ぐと云れジヤズソングやカリカチユアダンスに獨特の味を發揮する、殊に先頃長春座で上映されたチヤツプリン主演の問題の映畫街の灯にヒントを得て

＝脚色＝された、ナンセンスレビユー八景の如きは藤村梧朗の主演で一座は先頃熱狂的歡迎を受けたカジノフオーリーや淺草金龍館から選りぬきの娘子軍で、此一齣だけでも觀客を唸らせるに充分であらう

鄭總埋に感謝決議文

一日赤峯で熱河討伐完成慶祝

並に日滿兩軍への感謝大會が催されたが來賓として茂木警備司令官以下藤原松室大佐日本領事縣長以下縣要人八十名參集、縣長開會の辭を述へ祝慶式を行ひ、茂木警備司令官其他の祝辭官民代表の祝辭あり、最後に左の宣言決議感謝文を朗讀し、市内遊行の後再び會場に集合、日滿兩國歌を合唱、飛行機は低空飛行を爲し傳單を散布し盛會裡に散會した

感謝文

吾人は討伐完成に依り東洋の平和と安居樂業の喜びを得たり謹んで日滿兩國軍に感謝の意を表す

並に日滿兩軍に對する感謝大會を擧行市中は非常な賑はひで住民は心から滿洲國の王道樂土を稱へてゐた同大會に於て左の決議文を峯日滿官民代表の名を以て鄭國務總理に打電した

吾々は五族協和の精神に宣り各民族一致團結終始滿洲國を擁護し王道政治の實現を期し人民の樂土たらしめると共に平和を亮けしめんことを切に欲するものなり熱河討伐完成により吾等は東洋の平和安居樂業の喜を得たり謹んで日滿兩軍に感謝の意を表す

春競馬第一日

人出の割に投票少ない第一日

けふの盛況を豫想

春競馬第一日は絶好の競馬日和に惠まれ非常なる人出を見たが新馬の出場でファンも見當・ずれとなつたが人出に對し投票數は少かつた、第二日は日曜日のことゝて非常なる人出を豫想されてゐる

國恩感謝デーを忘れぬやうに

毎月一日神社前で國旗掲揚

新京には長春當時から十有餘の教化團体を合併した敎化聯盟があつて毎月一日を國恩感謝デーとし朝早くから神社の

＝神苑＝で國旗掲揚の式を執行するを例としてゐる、今朝は在鄕軍人會、青年訓練所、修養團、少年團約四十名が集合し國旗掲揚、國歌合唱、皇居遙拜、神社參拜をなした五月一日より午前六時擧式と一決して解散した、さて此の間民さし神社に參るものは百名を下らなかつたが側に行はれてゐる有意義な催しに參加しやうとしない新在留者が非常に多いから、强ち新京人士の健忘症ともいへない聯盟當事者の正しき宣傳に欠くる處あるのも

＝不振＝の原因ではある先づ三千の優勢を支持する在鄕軍人會正會員が振つて活模範を示されたい

フランスの女流飛行家

東京訪問飛行

(東京一日發國通)一度日本を訪れた佛國の飛行家メンシユー氏が世界一週飛行の途次日本を訪問するが同時に續いて女流飛行家で婦人世界最高記錄を持つマリズ・ヒルツ嬢も日本へ來るとの便りがあつた、右兩氏の國内航空路に就いては三十一日左の如く指定許可された、東京羽田を發し東京上空を避け國府津附近から大阪、廣島に出で山口縣對島から朝鮮に入り京城を經て直線コースに由り、安那山東省山東角へ向ふこと、着陸場は東京、大阪、蔚山、京城の各飛行場でマリズヒルツ嬢は支那山東省から南岸線添ひ朝鮮に入り、蔚山から對島に出で廣島、大阪、國府津から東京上空を避け羽田飛行場に着陸の豫定である

眼を掠めてハルピンに到着したが腹痛を訴へ醫者の手當を受けて辛じて飲み込んだ金を引出したが生命危篤内に飲み込んだ金額は三千元餘だと云ふが金故に生命を捨てた男として話題に上つてゐる

名蒙旗代表十數名蒙名人五百名朝集盛會を極め席上左の如き宣言及決議を爲した決議吾人は五族協和の精神に則り先づ蒙古民族の結束を固くし進んで大同團結し滿洲國の樂土建設の爲め一意邁進せん、さを期す

猶は來賓として松實大佐關東軍を遣し官の祝辭がありた

滿洲國官吏夫人の振德會發會式

けふ午後二時から

二日午後二時より國務院會議室で新に生れた滿洲國政府勤務の婦人よりなる振德會の發會式が擧行される、同發會式には沙河口ブラスバンドの演奏がある筈である、なほ會長は謝外交部總長夫人である

沙河口ブラスバンド 今夜演奏會

既報文敎部禮敎司主催新京地方事務所社會係招聘の沙河口ブラスバンドは二日午後六時半より新京高等女學校々々堂で演奏會を催す外同日午前十一時より新京戲院で、同午後三時より四時三十分まで國務院會議室で開かれる振德會發會式にそれ〴〵演奏する事となつた、なほプログラムは次の通りである

一、國歌マーチ
二、マーチ
三、我熱誠(ワルツ)
四、ボヘミヤの乙女(歌劇)
五、スペヤーミントマーチ
一、日本國民歌
二、獨立守備隊の歌
三、滿蒙維新
四、滿鐵歌
五、ラソレラマーチ
六、軍艦マーチ
七、滿洲國歌
八、君ヶ代

ソ聯から歸つた支人

所持金を飲み込んで生命危篤

(ハルピン卅一日發國通)勞農官憲の密輸出入取締りは極めて嚴重を極めてゐるがこの程ロシヤより脱走して來た支那張某は露滿國境通過の際、所持金が沒收を恐れ同所持金の始末に窮した結果遂に飲み込み勞農官憲の銳

四洮線第二十列車脱線

乘客別狀なし

(鄭家屯一日發國通)四洮線玻璃山臥車屯に於て本一日午前二時十分頃第二十列車は全部脱線したが乘客に別狀なし、原因は未だ確明しないが同列車乘車中の鈴木龍江建事務所長の談によれば、レールの折損狀態よりしてレールに舊痕ありしものゝ如く匪賊の仕業でない事丈は明かだ

蒙古民族大會

赤峰に於ける蒙古民族大會は三十日午前十時赤峰財神廟に於て開催されたが蒙古王族七

四平街便り

三月末在貨

(四平街支局發)四平街特産聯合會調査にかゝる三月末日に於ける特産在貨は二千二百二十二車にして其の内譯左の如し

品名	專用線	院	合計
大豆	八〇三	一〇三	九一三
高粱	一九五	四七八	六七〇
小米	二六八	一三五	四〇三
元子	六	〇	六
谷子	二〇〇	一三〇	二三〇
迷米	四	〇	四
苞麥	一〇七	八九	一九六
蕎豆	一二五	三六	一六一
吉豆	一三	九	一三二
小豆	六	四	一〇
大麻子	七	〇	七
小麻子	一五	六	二一
芝麻	六六	一四	七〇
蘇子	一四	二	二五
粳米	二	一三	一五
粳子	一	五	六
粳麥	〇	一	一
臭豆	〇	三	三
稷子	四	〇	四
合計	九六一	一二四一	二二二二
豆油	二、〇〇〇	一一、〇〇〇	一三、〇〇〇
豆餅	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇

世話人會改選

(四平街支局發)市内北町内會では世話人滿了に付き來る四月三日午後五時半より昌盛社三階大同館に於て會員總會を開催會務の報告と世話人の改選を行ふと

天氣と氣象

南西の風曇後晴
昨日の氣温最高一六、九
最低一、〇

婦人と家庭

これは亦面白い研究！からだの發育と月經
初潮の早い遲いは精神の働きにも及ぼして來る

普通我々は年齢といふと、十五歳とか廿歳とか、暦による年齢のみを云つてゐますが、その外に生理的年齢といふものがあります。心理學の方面ではすでにこれを認めてゐるのですが、身體の發育の上から見ても同樣、この生理的年齢の存在をはつきりと知ることが出來ます例へば、小學校を

▼▼卒業▲▲する時に、一人らしい子供と、まだほんの子供らしい子供とあることを御存じでせう。又、中等學校に於ても、入學當時、まるでからだの小さかつた人が、卒業する時には實に大きくなつてゐる人、又入學當時、相當大きなからだの人が、卒業するまでそのまま餘り大きくならずにしまふ人達も隨分あります……といふやうなことはこの生理的年齢を說明する絕好の材料でありませう。私はこの研究を七八八名の女學生について調査したのですそしてこの問題には

▼▼初經▲▲來潮の時期が實に密接な關係を持つてゐるといふことを發見しました。まづ右の七八八名中には、小學時代にすでに初經のあつたものが四三名あり、又女學校卒業の時まで初經を見ないといふものが一三名あります。ところで兩者の平均年齢を調べてみると、前者が十二年八ケ月後者が十一年四ケ月でたいした差異はありませんが、身長を見ると前者、即ち小學校時代に初經のあつたものは、女學校入學當時に平均一四七、二センチ、そして卒業時には一五二、五センチとなつてその間に平均五三センチ增加してゐます。又後者の女學校卒業まで初經を見ないといふ方は、入學時の平均が一三四、三センチで、卒業時の平均は一四九、二センチ即ち一四、九センチの增加ですから兩者の間には非常に大きな差があります。なほ體重についてもほぼ同樣な結果を示してます。この現象はさういふことかといふと、次の表にもごらんになるやうに、初經の

▼▼來潮▲▲まではずんずんよく發育してゆくが、その後の發育は比較的少いといふわけなのです。即ち前者、小學校時代の初經にすでに大きな發育を遂げてゐるので、後者の方は女學校に入つてからその初潮前の發育をしてゐるといふわけなのです以上の述べたので、これは身體の發育についてのみ調査したものではありますが、しかし精神上の發育についても、ほぼこれと並行してゐるものと想像出來ます。そして、もしこの想像が許されるとに假定するなら、女學校教育などにもかなり

▼▼應用▲▲出來得るものだと思はれるのです。

神農會一行來る

大日本神農會在滿將士慰問團の一行は大連上陸以來旅順、奉天と各地の衛戍病院及び滿鐵社員の慰問をなし、今一日午前八時新京に到着、直ちに關東軍司令部、滿鐵地方事務所を訪問、軍隊慰問の準備に着手した、一行は會頭山田春雄氏、秘書田中泉水氏、桃中軒雲右衛門師文藝浪曲林伯猿師、春の家山田月師、高田鈴木、小倉の三幹事の八名で新京の軍隊慰問が終るを一行は奧地へ向ふ豫定であると、なほ一行は二日午後一時から衛戍病院に傷病兵を慰問二日午後は高女講堂で關東軍司令部主催の慰安會に出演の由である

野菜相場

新京市場小賣相場表　四月二日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	四八	蓬蓮草 大連物	一一〇一
サツマ芋	三四	里芋	〇八〇
山芋	一〇八〇	赤芋 内地	一五
ワタ芋 内地	一二五〇	牛蒡	〇〇四五
蓮根	一一四六	白大根「大連」	〇〇六八
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇〇八九	人參	〇〇三三
生姜	一二〇〇	ウド	二三〇〇
ワサビ	一六五〇〇	内地葱	〇一〇八〇
玉菜	〇〇五四	カブラ 大小	一〇
馬鈴薯	〇〇三二	水菜 同	〇八
ユリ子	二五五〇	ミツ葉 大小	〇二五〇
セリ内地	一五	ワケギ 内地	〇五
春菊 大連	〇三	胡瓜 内地	一〇二五
林檎	一一三〇	内地梨	一二八五
天津梨	一一五〇	ミカン	一一五
ザーブル	四〇	西瓜	二二〇

鮮魚小賣相場

種別	値段	種別	値段
活鯛	一二三八〇〇	鳥	九二一
チヌ鯛	三四三九	マグロ	一六〇〇五
ブリ	三八	切	六
ヒラス	四六	切	七五
サハラ	六七二二	サバ	一二〇五
カレイ	八	ヒラメ	二三二七
ボラ	一四八	キス	二九
イワシ	八	ニシン	五
マナカ	四三	ハゲ	四八
フナ・オコゼ	三五	メバル	三九
ムツ	二六	サヨリ	一二九〇
バレン	七五〇〇	タコ	一二三〇
タイ・コイ	二二	イカ	一六二九四
水イカ	六五四二	イセエビ	一七二二
コエビ	二六	アナゴ	二二七
フワビ	六四五七	カキ	二〇五
アサリ	四	カマコ	二三五
チクワ	九	カニ	一二〇
タナゴ	三一	ホタ貝	一〇
中エビ	九五六二一	小水イカ	一二五

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第四十九回

濱千鳥(四)

白軒から酒杯をうけたうたひ女フラメの瞳は、淫蕩的に大きくかがやいた。

『和人しや、メノコに酒杯くれたねえ。おまへしやん、粗衣を着てゐるけど、小樽のやうにピリカたよ』

『……………』

かういふ場合、かへつて冷然となる白軒は、裾切れた布子の膝へ両手をおいて唇を結んでゐる。

『和人しや、忍路さ行くといふたが、それやめて、夷人漁村にゐなしやれや』

フラメは緊く唇を結んでゐる白軒へ、酒杯を差した。

『おまへしやん、忍路さ、なにしに行くかね』

『はい、何といふて目的があるのではございません。仕事を失つてかうして海岸をさまよふてゐるものでございます』

いひながら、白軒の胸中に、新しい計畫が虹のやうに湧きのぼつた。これはとんだ多幸な運命の糸をさぐり當てたものだ……と。

『んなら、忍路さ行くことやめなしやれ』

『でも、この濱では、誰もわしを使つてくれません』

思ふつぼにはまつたと、白軒はこゝろのうちにほゝ笑むだ。

『和人しや、漁夫やるとないよ』

『では、どうしてこの濱に……』

『メノコの家にゐなしやれや、トッカリ魚で飯焚いてやるよ。唐人の酒いくらでも飲ましてやる…』

『だが、この鍛冶小屋の親方は、不同意でございませうが』

『オッホ……親方ア、フラメのいひなりたよ』

『多くの、アイヌの若者の怨みを買ふでせう。あなたのやうな美しい女を、旅を流れあるく一介の船子が、獨占したとあつては……』

『なにいふかね、そんな禮儀、日本人村ていふことたよ。フラメはおまへしやんのためなら、私生子をうんでもいゝ』

蠻地の妖女フラメは、蛇のやうにその半裸體の軀をくねらして、白軒の身邊へ近づいて來た唐人の酒の酔ひが、彼女の頬をほつと上氣さして美しい。

『なるほど、その遠謀は和人のあひだの情義かしれません。しかし和人の船子が夷人漁村の厄介になつてゐることがわかると、箱館奉行の役人や、松前藩主に知られて面倒になります』

『オッホヽヽ。このふと鼠のやうに氣が小さいねえ。そんなときは、箱館奉行の役人をフラメはみんな丸めてしまふよ』

ゐざり寄つたフラメは、いつの間にか膝に置いた白軒の手を執つてゐた。大きな瞳を情熱に輝かしながら、じいつと見上げてゐる。

『それほどまでに……』

白軒は、言葉を呑んで、いきなりフラメのこびある肉體をいだき寄せた。こゝろに氷のやうな理性をいだきながら、表面いかにもアイヌ女の情熱にほだされたやうに甘くやさしく女の耳元へ愛慾のさゝやきを傳へた。

――おゝ、なんと容易な路傍の戀だらうか。……しかし、これも時にとつての方便だ。おのれを生かすためには、こんなたはれ女の戀をも甘受しなければならないだらう。

白軒は、口のうちにつぶやいて酒臭い息をはいた。

と、そのとき、戸外にあたつて白砂を踏みしめる人の足音が微かにあつた。